

シンガポールの 物流産業

に関する情報 2010

米国のリーマンショック以来、今後の成長のもっとも期待されるアジア地域。そこで各産業の企業がアジア地域における戦略を立て始め、シンガポールの充実したインフラ、有利な法人税率、アジア市場のニーズを見極める人材などを活かしてビジネス展開するケースが多くなってきました。

シンガポールでは、上位**25社**の**3PL**（第三者ロジスティクス提供者）のうち**17社**がシンガポールに拠点を置いています。その大半の会社が、シンガポール国内に地域本社機能を設立しています。例として挙げられるアジアの**3PL**は、日本の日本通運、日本郵船、山九およびヤマト運輸など、インドのガティ、豪州のトールなどでございます。（詳細は添付資料①をご覧ください。）

このような会社はシンガポールに拠点を置き、アジア太平洋地域のビジネスチャンスを探り、地域の子会社を管理するなど、ほかにもシンガポールの内需を満たしています。現在シンガポールの製造業が国の**GDP**（国内総生産）の約**2割強**を占めており、電子産業や精密機器産業をはじめ、石油化学産業およびバイオ医科学産業などにわたります。それに伴う特化した物流ソリューションのニーズに対応できる物流業者が不可欠でございます。（詳細は添付資料②をご覧ください。）

全業種にわたり、大手企業によってロジスティクスおよびサプライチェーン・マネジメントの拠点として選ばれています。その主な企業として、ヒューレット・パカード（HP）、LVMH（ルイヴィトン・モエヘネシー）、ニューモニクス、ロシュ・ダイアグノスティクス、シェリング・プラウなどがあります。

世界のサプライチェーンは一段と複雑化しているため、シンガポールに拠点を置く全世界の**3PL**およびサプライチェーン・マネジメント企業は、シンガポールおよび地域のメーカーや取引先向けに、革新的なロジスティクスやサプライチェーン・ソリューションの開発を始めています。



Photo Courtesy of Singapore Tourism Board

そのため、優秀な人材を確保することが大事でございます。シンガポールにはアジア最大手のロジスティクスのシンクタンク、ザ・ロジスティクス・インスティテュート・アジアパシフィック（TLI-Asia Pacific）があります。TLI-Asia Pacific は、産業界および政府と密接な関係ならびにパートナーシップを築き、実務的で影響力の強いソリューションにたどり着きました。ジョージア工科大学、シンガポール国立大学との連携により、TLI-Asia Pacific は西洋と東洋の両地域で発展する産業を十分に把握しています。その結果、TLI-Asia Pacific は、今日の複雑化したサプライチェーンに取り組む 100 人を超える世界レベルの専門家の訓練が可能になったのです。

シンガポールのインフラ、接続性、そして特別な施設

シンガポールは、インフラおよび特殊設備以外に、ロジスティクスの優れた世界ネットワークも提供しています。港湾は、200 以上の船舶会社を通じて 123 カ国の 600 港とつながっています。2009 年には、2,500 万 TEU を超えるコンテナがシンガポールから積み出されました。

航空貨物では、シンガポールのチャンギ空港は、アジアのトップ 5 入っています。60 カ国 200 都市以上から、80 の航空会社の 4,000 便以上が乗り入れています。シンガポールは、世界の全人口の半分が住むアジア太平洋地域の国々へ、飛行機で片道 7 時間以内の場所にあり、世界の主要市場にも近接しています。

シンガポールは、空港内のフリートレードゾーンにあるシンガポール空港ロジスティックパーク（ALPS）、地域配送に便利なチャンギ国際ロジスティックパークおよび化学・石油会社の特殊ニーズに対応するジュロン島のバンヤン・ロジスティックパークなどの、世界水準の専門インフラを設立しました。

また、3PL は、温度センサー付で時間優先の臨床・診断材料などの製品、化学・石油製品など業界の特殊な取扱ニーズに対応するため、設備および能力にも投資しました。そこで、チャンギ空港周辺に 2 つの新施設が 2010 年に開設します。1 つは生鮮品、温度に敏感な貨物が対象になる「クールポート」という低温施設で、もう 1 つは高価・重要品などが対象になる「シンガポール・フリーポート」という高セキュリティ施設でございます。（詳細は添付資料③をごらんください。）

シンガポール拠点を持つ企業の代表例

日本	アジア(日本除き)	米国	欧州
<p>日本通運</p> <ul style="list-style-type: none"> 東南アジア、南アジアの統括本部 チャンギ空港のALPSに2万8千平方メートルの物流施設 シンガポールに3箇所以上の施設を保有 <p>日本郵船</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア太平洋地域の統括本部 シンガポールに数箇所の施設を保有 <p>山九</p> <ul style="list-style-type: none"> 東南アジア、南アジアの統括本部 物流サービス、機工サービスを提供 およそ40年前にシンガポールの拠点を設立 <p>ヤマト運輸</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア太平洋地域の統括本部 宅急便サービスをシンガポールで提供。上海に続き、2番目の海外展開 	<p>Agility(中近東)</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア太平洋地域の統括本部 各BUの管理チームを統合 国際ビジネス展開の司令塔 <p>Toll(豪州)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際ビジネス展開の司令塔 SCMソリューション、海上石油生産・掘削向けのソリューション、低温物流のソリューションなどを開発 <p>CWT(シンガポール)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元企業 非船舶運航海上輸送会社(NVOCC)、規模は世界3番、アジア1番 東南アジア最大の商品倉庫を開設 <p>Gati(インド)</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア太平洋地域の統括本部 国際ビジネス展開の司令塔 	<p>Fedex</p> <ul style="list-style-type: none"> 南アジア地域の統括本部 600人の従業員のうち、400人が物流センター、200人が金融サービスセンター <p>UPS</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア太平洋地域の統括本部 SCMソリューションの開発センター <p>Menlo</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア太平洋地域の統括本部 シンガポールの6箇所の拠点のうち、1つはチャンギ空港のALPS内。 司令塔、4PLサービスを提供 	<p>DHL(ドイツ)</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア太平洋地域の統括本部および各BUの本拠点 3,800人の従業員 SCMソリューションの開発センター 医療産業、航空宇宙産業など向けのソリューション・施設 <p>DB Schenker(ドイツ)</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア太平洋地域の統括本部 主な客層はハイテック産業、自動車産業、航空宇宙産業など 医療産業向けのソリューション・施設 <p>TNT(オランダ)</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア太平洋地域の統括本部 航空・陸上輸送の拠点。アジア地域の陸上ネットワークを管理 バイオ・医療産業向けのソリューション・施設 <p>Vopak(オランダ)</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア太平洋地域の統括本部 石油化学産業向けの特別ソリューション、石油・化学材料の保存および輸送

近年の主要な投資事例

日付	会社	投資の概要
2010年5月	CWT	CWTは東南アジア最大の商品倉庫(230万平方メートル)を開設。この倉庫はロンドン鉄鋼取引所の認定をもらった上、最近では中近東会社であるボルージュが同施設内に自社のアジア物流ハブを設置しました。
2010年4月	Panalpina	スイス会社であるPanalpinaはシンガポールに新しい海上石油物流センター(2万平方メートル)を開設。昨年、同社はシンガポールにある既存の物流施設を拡張し、化学産業、バイオ、IT・通信産業向けの輸送サービスを提供。今回の拡張によって、同社はシンガポールで約3万平方メートルの倉庫スペースを保有。
2010年1月	ヤマト運輸	ヤマト運輸は上海に続き、シンガポールに宅急便サービスを提供。同社はシンガポール国内の需要に目を向いているが、今後ともシンガポールに司令塔を置き、シンガポールから東南アジア各国に展開する予定。
2009年11月	DHL	DHLはシンガポールの活動を強化するため、同社の医療・バイオリソリューションビジネスの拠点、そして地域に起こる自然災害に伴う緊急物流サポート・ソリューションのユニットをシンガポールに設置。
2009年5月	Christie's International	美術品の大手会社 Christie's International は地域の美術品オークションの需要増に対して、シンガポールに高セキュリティ倉庫を2010年からフリーポート内に設置。
2009年4月	Agility	中近東会社の Agilityはアジア地域の事業を強化するため、シンガポールを同社のアジア統括本部拠点に選択し、新しい輸送センター(約1万4千500平方メートル)を加えることで同社の物流施設を増設させた。
	TNT	TNT は既存の物流施設を拡張した。この施設はチャンギ貨物センターに位置しており、同社の5千マイルのアジア陸上ネットワークに接続する。今回の2千万シンガポールドルの増設によって、同社がシンガポールで扱える貨物量を増した。
2009年3月	Horizon Terminals	Horizon Terminals はジュロン島の液体保存ターミナルの第三段工程を完成させた。今回の増設は4億7千万シンガポールドルの投資で、石油製品などの収納量は約27万立方メートル。同施設の総収納量は124万立方メートルに達する。
	Zuellig Pharma	Zuellig Pharma はシンガポールの医療・バイオ産業をサポートするため、シンガポールに29万平方フィートの施設をオープンした。同社の輸送センター、医療ビジネスの統括本部などが施設内にあり、アジア地域の臨床検査活動をサポートする。

シンガポール空港ロジスティックパーク (ALPS)



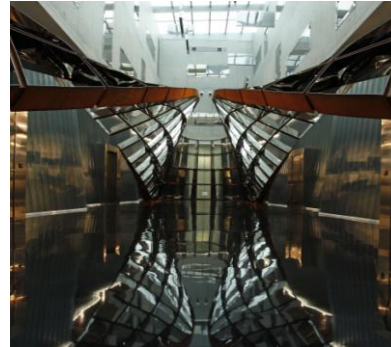
- 2003年に開設され、面積が約26ヘクタール。
- ほぼ100%のスペースが既に使用され、パーク内に施設を持つ3PLは日本通運をはじめ、DB Schenker, DHL, Expeditors, Menlo, UPS, SDVなどである。
- チャンギ国際空港周辺の自由貿易地域 (FTZ) 内に位置するため、各物流会社は空路を使った高効率なソリューションを提供可能。

クールポート



- 2010年度に開設される予定。
- シンガポール・エアポート・ターミナル・サービス (SATS)¹ が1千2百万シンガポールドルを投じた生鮮品専門貯蔵センターを建設する。生鮮食料品や薬品など鮮度維持、温度管理が必要な貨物を取り扱う。
- シンガポールチャンギ空港内に位置しており、貨物の年間取扱量が約25万トン。
- 初段階の面積が8千平方メートル。将来は1万4千平方メートルまで拡張可能。
- クールポートは国際基準である危害分析重要管理点「ハセップ」に従う。
- 今後ハラル生鮮品施設として証明され、アジア太平洋地域で初の施設を目指す。

シンガポール・フリーポート



- 2010年5月に開設され、チャンギ国際空港内に位置する。
- 面積は3万平方メートルで、小型倉庫スペース (~10平方メートル) から大型倉庫スペース (~1000平方メートル) まであり、各スペースには高セキュリティー装置が働いている。
- 倉庫スペースのほかに、ショールームや展示場、ワークショップ、写真スタジオ、オフィススペースなどもある。
- 対象となる貨物は美術品、金属品、アンティーク、ワイン、ビンテージ自動車、ダイヤなど高価品。
- チャンギ空港の滑走路に近いので、倉庫までより安全に貨物輸送が実現できる。
- 温度や湿度を調節可能、24時間営業、観覧する際の高セキュリティー貸切個室。
- 施設内にストレージや物流サービスを提供する会社は美術品会社である Christie's, Fine Art Logistics Natural Le Coultre と Helutrans Group である。

¹ 昔はシンガポール航空会社の関連会社である。1972年に独立され、2000年に上場した。

シンガポール経済開発庁 (EDB) とは

経済開発庁 (Economic Development Board : EDB) は1961年に設立された貿易産業省傘下の政府機関で、シンガポールの産業育成、投資誘致を担っています。「外資系企業誘致のワンストップセンター」として、海外19カ所に事務所を持ち、外国企業に投資先としてのシンガポール情報を提供するだけでなく、世界の経済、技術、市場動向を把握することで、シンガポールで競争力を持ちえる産業や分野を育成するための経済戦略を立案しています。日本には、東京、大阪に事務所を構え、日本企業のシンガポール投資をサポートしています。

連絡先

シンガポール共和国大使館参事官
(産業) 事務所

電話番号 : 03-3501-6041

URL: www.singaporeedb.jp

メールアドレス : edbjapan@edb.gov.sg

© シンガポール経済開発庁

All rights reserved.

All information correct at time of print (May 2010)